

## 【静岡県】

現在の景気：一部持ち直しの動き。

3か月程度の見通し：横這い圏内で推移するとみられている。

個人消費：持ち直し。3月の乗用車販売は、普通乗用車が前年比79.6%増加、小型乗用車が75.0%増加、軽乗用車が60.6%増加し、全体では前年比70.5%増と6か月連続で増加。2月の百貨店販売は、寒気が強まったことから冬物衣料品が増加、高額品も需要が多く、全体では前年比7.0%増と4か月連続で増加。スーパー販売は前年比0.2%増と11か月ぶりに増加。

住宅建築：一進一退。2月の住宅着工戸数は、持家が前年比10.0%増と3か月ぶりに増加、貸家が15.4%増と6か月ぶりに増加、分譲住宅が98.5%増と3か月ぶりに増加し、全体では前年比25.0%増と3か月ぶりに増加。

設備投資：持ち直し。3月の貨物車登録台数は前年比73.2%増と9か月連続で増加。2月の着工建築物床面積（非居住用）は前年比58.0%増と4か月連続で増加。

公共工事：足許増加したものの、低調。3月の公共工事請負額は、独立行政法人等が前年比75.3%減少したものの、国が38.9%増加、県が30.7%増加し、全体では前年比1.5%増加。件数は前年比17.6%増加。

輸出：やや伸び悩み。2月の清水税関支署管内輸出額は、輸送用機器が前年比6.9%減と2か月連続で減少したものの、一般機械が13.2%増と9か月連続で増加、電気機器が6.7%増と4か月連続で増加し、全体では前年比0.8%増と2か月ぶりに増加。清水港は、自動車部品、重電機器、原動機などが増加し、全体では前年比3.1%増と2か月ぶりに増加。

生産活動：横這い。1月の鉱工業生産指数（季調済）は前月比0.1%低下し79.0と2か月ぶりに低下。非鉄金属、化学、食料品が上昇、電気機械、輸送機械、ゴム製品が低下。原指数は前年比2.1%低下し3か月連続で低下。2月の産業用大口電力販売量は、自動車関連が増加したものの、非鉄金属などの生産調整から、全体では前年比2.5%減と12か月連続で減少。

観光：低調。2月の伊豆地区主要ホテル・旅館の売上高、客単価ともに前年比減少。

雇用情勢：持ち直し。2月の有効求人倍率（季調済）は前月比0.06ポイント上昇し0.76倍。新規求人倍率（季調済）は前月比0.22ポイント上昇し1.39倍。

### （トピックス）

○静岡経済研究所の「静岡県内中堅・中小企業設備投資計画調査」（2012年3月実施）によると、県内の中堅・中小企業（348社）の2012年度設備投資計画額は前年度比12.4%減少。業種別では、化学・ゴム製品、パルプ・紙・紙加工品で前年度比増加を見込むものの、鉄鋼・非鉄金属、食料品などで減少する見込み。

○国交省が発表した1月1日現在の地価公示価格によると、県内では5つの土地用途すべてにおいて前年に引続き下落。住宅地では過疎化の進む地域のほか、特に下落幅の大きい地域は沿岸部と浜岡原発周辺で、震災による津波への懸念が窺える。一方、新東名開通の追い風もあり内陸部への工業用地需要は高まる。

## < 主要産業の動向 ー 静岡県 ー >

- **一般機械**：1月の金属工作機械生産額は3か月連続で前年比増加。前年前半までの好調さが戻りつつある。金型生産額は3か月連続で前年比減少。今後は、タイの復興需要が一巡したこと、世界経済や為替の動向から不透明感が続くことが予想される。
- **輸送機械**：2月の遠州地域の二輪車生産台数は4か月連続で前年比増加。1月の県内自動車部品生産額も7か月連続で前年比増加。今後は、自動車メーカーの海外生産拡大により、製造の海外現地化が遅れている部品メーカーは受注の獲得が難しくなることが予想される。
- **観光**：年末年始の伊豆地区の宿泊客数は概ね前年並みで推移。観光施設への入込客数もほぼ前年並み。一方、「河津桜まつり」や「熱海梅まつり」などの観光イベントは開花の遅れで集客が落ち込み、春先の伊豆地区全体の観光集客にも悪影響が出ている。